

北海道電力(株)等への要請行動

平成26年8月11日に、北電に対して、水産団体(道水産会・道機船連・道加工連・道荷主協会・道冷凍協会・道信漁連・道共済組合・道基金協会・共水連北海道・道漁連)が要請行動を行いました。要請内容は、1. 徹底した経営コストの削減に取り組み、電気料金の値上げを見合わせるよう強く求める、2. 本道水産業の実態に即した契約電力の見直しを強く求める。

また、参加した関係団体より、1. 中小の加工場でも年間5,000千円程度の負担増となり、死活問題である、2. 昨年の値上げ率と今年の値上げ率の合計は、50%にもなり、経営を圧迫することは、目に見えており、経費削減は限界に達している、3. 水産業界は、コスト上昇が有っても、販売価格に上乗せ出来ない業界であり、コスト高は北海道の産業競争力を阻害するものである、4. 本道での漁業生産額は約2,800億円、加工生産額は約6,000億円を有しており、お互いに車の両輪である。今回の値上げは、経営に直接的影響が多であり、真摯に値上げの見合わせと契約方法の見直しを願いたい、と訴えました。

北電に対する要請行動終了後、北海道経済産業局へ、厳正な審査のお願いを要請致しました。また、北海道庁へは、知事としての意見陳述と関係部門のバックアップを要請致しました。



北電への要請書の提出



要請行動の様子



要請行動の様子



北海道経済産業局への要請行動



北海道庁への要請行動